

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	NN	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4 年	派遣国	タイ
派遣大学	チェンマイ大学		
期 間	2024 年 11 月 1 日～ 2025 年 4 月 7 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	アパート					
部屋	個室					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン		冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (20,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	15,000 円	全部外食
学用品購入費	5,000 円	制服代、教科書(初月だけ)
交通費	5,000 円	タクシー (車・バイク)
交際費	10,000 円	観光・旅行
その他	5,000 円	日用品や洗濯代など
合計	40,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

チェンマイの治安はとても良い。夜も一人で出歩いても問題はない。一方で、街頭が少なく暗い場所もあるので、そういったところでは注意するように歩いていた。また、野良犬がいるため注意した方がよい。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(5) ヶ月間	保険料	(60,000) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **チェンマイ** ）

【学業編】

1. 大学情報

大学	チェンマイ大学	所在地	Chiang Mai University 239, Huay Kaew Road, Muang District, Chiang Mai Thailand, 50200
最寄空港	チェンマイ国際空港	空港からの距離	車で 15 分
空港⇄大学	(タクシー) *移動手段		
学生数	約 38000 人	留学生数	不明
学部	マスコミュニケーション学部 農学部 歯学部 関連医学部 法学部 経営学部 看護学部 医学部 薬学部 人文学部 政治学部および行政学部 美術学部 理学部 工学部 教育学部 経済学部 建築学部 社会科学部 獣医学部 公衆衛生学部 農産業学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	人文学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (11)月～(3)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	1 限 Principles of Management and Organization	2 限 Fundamental English 2		1 限 Principles of Management and Organization	2 限 Fundamental English 2
午後	3 限 Chiang Mai: A Global City			3 限 Chiang Mai: A Global City	

② ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

3. 履修内容

科目	Principles of Management and Organization		
履修期間	2024 年 11 月～2025 年 3 月	単位数	
授業内容／形態	対面 経営学の中でも、組織マネジメントを中心に学んだ。この授業では、グループプレゼンテーションやグループ課題など、グループの人と行うことがほとんどだった。		
成績	聴講生として履修したため、単位はでない		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Chiang Mai: A Global City		
履修期間	2024 年 11 月～2025 年 3 月	単位数	3
授業内容／形態	対面 チェンマイについて包括的に学ぶ授業。クラスでは講義やプレゼンテーションに加えて、何度かフィールドワークに行き、チェンマイの歴史や都市の成り立ちについて学んだ。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	留学前に横市で、ゼミと卒論以外の単位をすべてとったため、振り替えない	
	単位数		
	担当教員		

科目	Fundamental English 2		
履修期間	2024 年 11 月～2025 年 3 月	単位数	3
授業内容／形態	対面 英語の 4 技能を包括的に学ぶ授業。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

チェンマイ大学への交換留学の目的には、「多様な文化や価値観に触れ、自分自身の視野を広げる」というものがあった。チェンマイ大学は、ヨーロッパなどの先進国からの留学生だけではなく、発展途上国や後進国、社会情勢が厳しい国々からの留学生も多くいて、その留学生たちと時間を過ごすことによって、自分自身の留学の目的を達成させるためには最適な場所であったと留学を通じて思うことができた。

留学を通じて、私自身は大きく3つのことを学んだ。

一つ目は、自分自身から積極的に動くことの大切さである。留学は準備期間を含め、自分自身で情報を探して、その情報が正しいのかを判断して行動するということが多くの場面で求められた。例えば、ビザの申請や延長、滞在先の確保など、日本では経験したことがないことも自ら進めないといけなかったため、とにかく情報を集めて自分自身で判断し、行動するということが大切であった。この経験は、ただ大変だったということだけではなく、自分自身の主体性や情報収集能力、判断力を向上させることができ、いい機会であった。

二つ目は、「空気を読みすぎない」ことの大切さを学んだ。授業のグループディスカッションや日常生活を現地の学生や他の留学生と過ごす中で、彼らは自由闊達に意見を発信することによって自分自身の考えを深めたり、自分自身のやりたいことを実現させているように見えた。日本は「空気を読む」ということが美德とされている部分もあるが、留学中に「空気を読みすぎない」ということで得られるメリットに気が付くことができた。

最後に、シンプルだが、とにかく笑顔でいることが大切だと感じた。タイでは、街中にあるご飯屋さんなどは特に、英語が通じないところが多かったが、笑顔でコミュニケーションを頑張って取ろうとすれば、言葉が通じなくてもなんとかなると言うことが多かった。また、「微笑みの国」と言われているほどタイの人たちはみんな笑顔で優しくしてくれたため、自分自身もそうなれるようにしよと思った。

約5ヶ月という短い間であったが、さまざまな経験や学びを得ることができ、人生の中でも一番濃い5ヶ月間であったと確信している。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

大学3年生の後期に留学したということもあり、留学中に将来について考えることが多かった。その中で、東南アジアやグローバルサウスなどのこれからどんどん発展していく地域に対する事業に携われる進路に決めたため、今回の留学の経験を活かして、どんな環境でも挑戦することを大切にしていきたい。また、今回の留学を通じて、実用的な英語力という部分に関しては、まだまだ足りない部分があるため、今後グローバルに働く上で必要な英語力の向上を日本にいても続けていきたい。

卒業論文に関しては、留学で培った多角的に物事を捉える視点、自分自身の価値観を見直す姿勢をもって、学生の集大成として納得のいくように執筆していきたい。

残りの学生生活は、学業に力を注ぐとともに、与えられた時間の中でさまざまな国の文化や考え方に触れ、自分自身の活動フィールドをどんどん広げていきたい。そして、将来もさまざまな環境下で、常に高みを目指して挑戦していきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

大したアドバイスはできないが、自分自身が留学前や留学中に意識していたことについて二つあげる。

一つ目は、とにかく自分から行動を起こして情報を得て、その情報が正しいのかを判断した上で行動することを大切にしていた。留学は人生で何回も経験できるわけではないため、ほとんどが初めてのことであれば何をどうすればいいのかもわからない。そのため、自分自身で情報を必死に集めることが重要であると感じた。また、いろいろな事情でネットに載っている情報が古いものであったり、誤っていることがあるため、とにかくその情報がただ本当に正しいのかを判断するということも大切であると感じた。また、一人ではわからないことがあったら、誰かに聞くことで簡単に解決することも多かったため、一人で抱えすぎないことも意識した方がいいのかなと感じた。

二つ目は、「まあいっか」という精神をもつことも留学中に意識し、大切にしていた。海外では日本での当たり前が通じないことも多くあり、その度にショックを受けたり落ち込んだりするが、「まあいっか」という開き直る気持ちを持つことによって、案外うまく物事を進めることができたのではないかなと思う。そのため、何でも完璧にやろうと力を入れすぎるのではなく、気楽に身構える程度の方がいいのではないかと考えている。

皆さんの留學生活が充実したものとなることを、応援しています！